

和泉市の歴史 4 『信太山地域の歴史と生活』 正誤表

64頁 図13	取石連	誤	取石造	正
89頁 図15	(南海本線) 羽衣駅 富木東塚古墳		(南海本線) 北助松駅 富木車塚古墳	
109頁表3 №24	延暦3年(784) 閏9月戊辰申(10日) 祭		延暦3年(784) 閏9月戊申(10日) 祭	
131頁7行目	慶長一(一六九八)年		慶長一(一六〇六)年	
171頁後3行目	しんぢ (新家村のルビ)		しんぢ	
172頁表1村名	尾井村		尾井字 ※3	
177頁3行目	速見甲斐守守久		速水甲斐守守久	
179頁表4	正保4年(1646)		正保4年(1647)	
188頁2行目	差出人は、 とよらのも村凶び五番目 の所持高		差出人は、 中村では五番目 、 王子村では六番目 の所持高	
193頁表7 慶長9年指出帳村高	出作高石村 114.32		出作高石村 114.969	
同前 正保郷帳	中村 代官：中坊 294.873		中村 代官：中坊 294.622	
同前 脚注	かゝた		かゝた村	
193・194頁表7	岡山領地		粟栗岡石高寺村田藤井寺村伝	
194頁表7 古検	大村 455.9 424.2		大村 455.92 424.212	
高新検高				
199頁表8 一条院村	長7町		長7町半	
206頁表9	宝曆・明和年中(1751～1773)		宝曆・明和年中(1751～1772)	
208頁後2行目	かいつひ (会池のルビ)		がいつひ	
210頁表11	享永5(1720)年		享永5(1708)年	
224頁1行目	かわたの所持地		かわた分の所持地	
224頁後5行目	かわた所持分は 九筆 二石余と		かわた所持分は 八筆 二石余と	
225頁後7行目	王子村が名請人 三六 人		王子村が名請人 三三 人	
231頁7行目、写真	『和泉名所図絵』		『和泉名所図会』	

232頁後7行目	黒鳥村には	誤	黒鳥村は	正
235頁9行目、269頁後6行目	畿内八ヶ国		上方八ヶ国	
268頁7行目	特記しない限り		基本的には	
274頁5行目	てんぼう(転封のルビ)		てんぼう	
278頁10行目	六一軒と		六八軒と	
282頁4行目	…重なる家を挙げたが、 口と仁兵衛家には親戚関係はない。		…重なる家を挙げた。	
292頁 図21	II利右衛門 宝曆12年)		II利右衛門 宝曆11年)	
294頁後5行目	利右衛門(Ⅲ)も一七石余から九石余、儀兵衛も 九・四石 余から…		利右衛門(Ⅲ)も二〇石余から九石余、儀兵衛も 九石弱 から…	
295頁5行目	寛政八(一七九六)年まで儀兵衛を名のり、年寄を務めている。		寛政八(一七九六)年まで年寄を務めている 明和七年三月 までに儀兵衛と改名。	
295頁後6行目	文次		文治	
298頁後5行目	江戸		大坂町奉行所	
298頁後4行目	高持全員に過料銭二貫文という裁許が下った。		村高に応じて過料銭二貫文余(高持が負担)という裁許が下った。	
298頁最終行	府中役所は		堺奉行所は	
301頁後5行目	寛延一(一六二五)年		寛延二(一七四九)年	
302頁後6行目	高持一七人のうち		高持一七人(表36の典拠史料とは基準が異なる)のうち	
302頁後6行目	次兵衛捌高所持者は 八二人 、また双方の捌高を所持している者は 二七 人		次兵衛捌高所持者は 八一人 、また双方の捌高を所持している者は 二六 人	

	誤	正
303頁後6行目	村全体の三分の一	村全体の四分の一強
304頁表38	利右衛門 7,249	利右衛門 7,294
同前	利右衛門 12,069	利右衛門 12,302
305頁後4行目	幕末のち	明治一年にち
305頁表39 三郎	雪路表	雪路
右衛門		
同前新助	金 80 両・銀 15 匁	金 65 両・銀 15 匁
同前仁兵衛	0,308	0,130
306頁表40 文政3年	16人	17人
同前文政10年	14人	16人
同前天保2年	53人	57人
309頁後5行目	村預はじなっているが	処罰されているが
313頁表41	角右衛門 1貫 356 文	角右衛門 1貫 362 文 ※3
同前脚注	(追加)	※3 1貫 356 文の誤記カ
324頁後3行目	擬宝珠	擬宝珠
349頁表44	天保3(1837)年	天保3(1832)年
376頁後5行目	寛政5年	寛政七年四月
394頁後4行目	親分松の音(三八歳) やその子分	親分松の音(三八歳) の子分
396頁最終行	おおひ(王子のルビ)	おひ
404頁後6行目	三四五戸	三四七戸
405頁表5 南	1,047	1,147
王子 人口男		神輿・地車の世話
430頁12行目	地車の世話	神輿・地車の世話
431頁10行目	一頁一面	一頁一回
431頁11行目	中田製靴、九月号には奥田靴店(奥田浅夫)	中田製靴店、翌年九月号には製靴店(奥田浅夫)

	誤	正
432頁 2行目	岸田岡太郎(一八九三)	岸田岡太郎(一八九三)
456頁 8行目	説教師 一九三三、写真16)	説教師 一九二四、写真16)
459頁後3行目	小学校	国民学校
476頁写真34	『旧信太山演習場・・・』	『旧陸軍信太山演習場・・・』
508頁後13行目	天平一六(七四一)	天平一六(七四四)
512頁後7行目	一八五二 嘉永五	一八五三 嘉永六
513頁最終行	一九〇八 明治四〇	一九〇八 明治四一
520頁 ▼第2部 (追加)		大阪の部落史委員会編『大阪の部落史』第2巻・第9巻 部落解放・人権研究所 二〇〇六・二〇〇八
189頁 1行目	二九人中九人	三〇人中一一人
493頁表21	『商工名鑑 1907』	『商工名鑑 1912』
457頁後4行目	説教師 中村 (追加)	説教師 中村
365頁表46 安水2	大村 7,2632	大村 (割除) 7,2632
同前安政6	五兵衛 (29)	五兵衛 (30)
同前嘉永2	嘉兵衛 15,14	嘉兵衛 15,140
同前天保10	利右衛門 11,11	利右衛門 11,105
同前天保元	五兵衛 1,63	五兵衛 11,630
304頁表38 寛政12	利右衛門 1,062	利右衛門 10,616
同前天保元	五兵衛	五兵衛 (92)

*富木(とのき) 99頁後3行目173頁1行目209頁6行目、南出(みなみで)171頁後3行目、野代(のしろ) 99頁後3行目・173頁1行目は、富木(とのき)、南出(みので)、野代(のしろ)ともいう。(角川日本地名大辞典27 大阪府)『日本歴史地名大系 大阪府の地名』平凡社参照。

	番号	表題	高 (石)	差出人	筆数			
					(田)	畠	屋敷	計
信太郷	1	泉州泉州郡信太郷上田井(上代)村御指出	65.267	善衛門	60	35	3	98
	2	泉州泉州郡信太郷中村御指出之事	287.873	与八郎	204	86	24	314
	3	泉州泉州郡信太郷太村御指出之事	426.700	彦九郎	321	180	9	510
	4	泉州泉州郡信太郷尾井村御指出之事	149.303	与三郎	136	46	5	187
	5	泉州泉州郡信太郷富秋村御指出事	89.391	太郎左衛門	84	43	8	135
	6	泉州泉州郡信太郷わうし(王子)村御指出之事	202.591	藤兵衛	189	102	12	303
	7	泉州泉州郡信太郷かわた村御指出	59.162	甚五郎	48	3	2	53
	(14)	[上村]		[若左衛門]				
小計			1280.287					
出作	8	泉州泉州郡信太郷出作はふ村舞村御指出	16.764	若左衛門 [上]	14	31	0	45
			30.111		21	30	10	61
	9	泉州泉州郡信太郷出作千原村御指出事	230.422	与三郎(尾井)	138	27	0	165
	10	泉州泉州郡信太郷出作森村助松村御指出	128.633	太郎左衛門(富秋)	73	2	0	75
			97.738		54	2	0	56
	11	泉州泉州郡信太郷出作綾井村御指出事	95.135	彦九郎(太)	53	8	0	61
	12	泉州泉州郡信太郷出作高石村御指出之事	114.969	与八郎(中)	61	1	0	62
	(15)	[出作夙村]		[善衛門(上代)]				
	(16)	[出作池上村]		[藤兵衛(王子)]				
	(17)	?		?				
小計			713.772					
無地	13	泉州泉州郡信太郷無地之帳事	33.660	与三郎 彦九郎	21	1	0	22
総計			2027.719					

表3 慶長9(1604)年「信太郷指出帳」一覧 13冊の宛先はいずれも小出将介・小川久介・小林九郎兵衛。番号の1~13が現存する史料。(14)~(17)は作成されたはずだが現存しないものを推定した。太村には他に「式町 式拾石 山田原作」あり。

185頁

村名	筆数	ぬま	あまくす あまくそ	小字 なし
王子村	303	8	5	38
尾井村	187	5	10	19
太村	510	0	0	4
富秋村	135	0	52	32
上代村	98	0	0	20
中村	314	78	2	26
かわた	53	0	1	2
無地	22	6	0	1
出作森村	75	50	7	1
出作千原村	165	58	21	19
出作土生村	45	0	0	7
出作綾井村	61	21	0	2
出作舞村	61	0	0	27
出作高石村	62	60	0	0
出作助松村	56	34	18	0

表5 慶長9(1604)年信太郷指出帳における小字ぬま・あまくす

<太村>		<尾井村>		<中村>	
石高	人数	40石以上*	1	15石以上	4
60石以上*	1	15~40石	0	10~15石*	8
20~60石	0	10~15石	4	5~10石	11
15~20石	5	5~10石	5	1~5石	12
10~15石	8	1~5石	3	0~1石	12
5~10石	14	0~1石	1		
1~5石	19				
0~1石	8				
計422,3484石	55	計149,364石	14	計287,789石	47
*彦九郎62,317石		*与三郎40,105石		*与八郎14,102石	
永荒（無主）20,202石		永荒（無主）10,636石		永荒（無主）3,624石	
屋敷9筆		屋敷5筆		屋敷24筆	
<出作綾井村>		<出作千原村>		<出作高石村>	
5~10石	5	20石以上	1	5石以上	6
1~5石	19	15~20石	2	1~5石	29
0~1石	6	10~15石	4	0~1石	0
計95,145石	30	5~10石	14	計114,779石	35
		1~5石	7		
		0~1石	1		
		計230,426石	29		
<王子村>		<富秋村>		<上代村>	
15石以上	3	15石以上*	1	20石以上*	1
10~15石*	5	10~15石	1	10~20石	1
5~10石	7	5~10石	4	5~10石	4
1~5石	9	1~5石	9	0~5石	0
0~1石	9	0~1石	11	計65,799石	6
計202,686石	33	計88,958石	26	*善衛門20,579石	
*藤兵衛12,891石		*太郎左衛門18,574石		永荒（無主）なし	
永荒（無主）8,999石		永荒（無主）2,839石		屋敷3筆	
屋敷12筆		屋敷8筆		<出作夙村>	
<かわた>		<出作森村>		<上村>	
5石以上	2	5石以上	7	<出作土生村>	
1~5石	19	1~5石	26	5石以上	1
0~1石	8	0~1石	1	2~5石	0
計59,1686石	29	計128,629石	34	1~2石	4
永荒（無主）0.037石				0~1石	11
屋敷2筆		<出作助松村>		計16,744石	16
<出作池上村>		10石以上	1	永荒（無主）1,368石	
		5~10石	4	<出作舞村>	
		1~5石	29	4石以上	1
		0~1石	0	2~4石	6
		計96,424石	34	0~2石	11
				計30,112石	18
				永荒（無主）2,41石	
				屋敷10筆	

表6 慶長9（1604）年の各村の村落構造

*は差出人の位置する階層。合計高は、計算上のもの。帳末に記載された合計高は表3を参照。永荒は合計高に含まれる。

年	西暦	総軒数 (軒)			五人組 組数	総人口 (人)		
		高持	無高	男		女	出家	
慶長9年	1604	信太郷王子村内の土地の名請人 28人						
延宝7年	1679	上泉郷出作王子村の名請人 約40人						
元禄元年	1688	58			11			
元禄8年	1695	死牛馬取捌権利者 24人						
宝永元年	1704	75前後						
正徳3年	1713	93	35	58		403	203	199
享保8年	1723	93			19			
元文3年	1738	106				520	282	238
寛延3年	1750	134	56	78		661	307	351
寛政4年	1792	203	86	117	31カ	909	474	435
天保7年	1836	333	88	246	33カ	1784	910	873
安政6年	1859	347	78	269	24	1990	995	1029

表25 南王子村の家数・人口変遷 総人口には、出家を含む年とそうでない年がある。また安政6年は計算が合わない(実数は男955人)。史料の表記と実数が異なる箇所は、いずれも史料のまま表記した。

年	西暦	A	B	C	D	E
寛延3年	1750	仁兵衛(54)		又右衛門(47)	四郎兵衛(52)	
宝暦2年	1752	仁兵衛(21)		〃(49)	〃(54)	
宝暦4年	1754	〃(23)		〃(51)	四郎兵衛(19)	太右衛門(30)
宝暦12年	1762	四郎兵衛(29)	仁兵衛(38)	〃(59)	伊兵衛(27)	〃(34)
宝暦14年	1764	太右衛門(21)	〃(39)	四郎兵衛(31)	〃(29)	太右衛門後家
明和3年	1766	〃(22)	〃(42)	〃(33)	〃(31)	〃
明和5年	1768	〃(24)	〃(44)	〃(34)	〃(31)	〃
明和7年	1770	〃(26)	〃(46)	〃(36)	〃(33)	〃
明和9年	1772	太四郎(28)	〃(48)	〃(38)	〃(35)	〃
安永3年	1774	〃(30)	◀同家	〃(40)	〃(37)	〃
安永5年	1776	〃(32)	仁兵衛(18)	〃(42)	〃(39)	〃
安永9年	1780	〃(36)	〃(22)	〃(46)	〃(43)	惣吉(18)
天明2年	1782	太右衛門(38)	〃(23)	〃(48)	〃(48)	〃(20)

表26 南王子村の名前人推移 ()内は年齢。数値が合わない箇所は史料のままとした。同色は、同一人物。

国名	郡村名	人数
和泉	大島郡塩穴村	9
	南郡嶋村	3
	日根郡布村	9
	日根郡瀧村	5
	日根郡樫井村	1
	合計	27
紀伊	名草郡北野村	4
	名草郡中村	1
	那賀郡古和田村	4
	那賀郡国分村	1
	合計	10
河内	石川郡富田林村	4
	若江郡八尾村	4
	若江郡荒本村	1
	志紀郡瀬ヶ井村	2
	丹北郡布忍村	4
	丹北郡富田新田	1
	合計	16
大坂	渡辺村	2
京都	六条村	1
大和	葛上郡小林村	1

年	渡辺村	摂津	京都	合計
寛延3年	4	1	1	6
宝暦2年	5			5
宝暦4年	2			2
宝暦12年	2			2
宝暦14年	3			3
明和3年	3			3
明和5年	2			2
明和7年	1			1

表29 南王子村からの奉公先

表27 村外出身の女房の出身地 表27～29は、奥田家文書より、寛延3～明和7年で判明する分を表した。村名には、かわた村を内に含む百姓村名、かわた村名、あるいはかわた村間で用いられた通称名が含まれているが、原則的に、史料の表記のままとした。

年（西暦）	総戸数	総戸数内訳		無高内訳		人口
		高持	無高	借地	借家	
寛政12(1800)年	230	98	132	101	31	1112
文化7(1810)年	241	90	151	116	35	1243
文政3(1820)年	260	89	171	124	47	1380
天保元(1830)年	301	88	213	162	51	1753
天保10(1839)年	266	78	188	118	70	1425
嘉永2(1849)年	356	84	272	121	151	1793
安政6(1859)年	347	78	269	134	135	1990
明治2(1869)年	394	77	317	96	221	1961

表36 南王子村における19世紀中の人口増加 総戸数に西教寺は含まない。

家筋	寛延 4 年 1751	宝暦 2 年 1752	宝暦 3 年 1753	宝暦 4 年 1754	宝暦 6 年 1756	宝暦 12 年 1762
利右衛門筋	★利右衛門 I (64) 26.221	★〃 (65) 26.221	★〃 (66) 22.262	★〃 (67) 22.262	(★)〃 (69) 22.262	九市郎 (17) 22.262
		4.519	0.560			★利右衛門 II (46) 10.257
	為右衛門 (35) 6.326	〃 (36) 6.326	〃 (37) 10.257	〃 (38) 10.257	〃 (40) 10.257	
儀兵衛筋	☆儀兵衛 (60) 13.362	☆〃 (62) 13.362	☆〃 (63) 13.390	☆〃 (64) 13.390	☆〃 (66) 9.545	☆〃 (72) 8.895
			0.028	分家	→ 文治 (28) → 3.845	〃 (34) 4.495
合計	45.909	45.909	45.909	45.909	45.909	45.909

家筋	明和元年 1764	明和 3 年 1766	明和 8 年 1771	明和 9 年 1772	安永 3 年 1774	安永 5 年 1776
利右衛門筋	武八郎 (19) 22.262	平次 (17) 15.690	武兵衛 (23) 15.690	伝次 (17) 10.937	〃 (19) 10.937	〃 (21) 10.675
	分家	養子	分家	武兵衛 4.753	×	武兵衛後家 1.683
		6.012			0.262	分家
	★利右衛門 (48) 10.257	★〃 (50) 16.269	★〃 (55) 14.814	★〃 (56) 14.814	★利右衛門 III (29) 20.164	★〃 (31) 17.79
	0.560	→ 理平 (21)	利平 (26)	利平 (27)		
儀兵衛筋	☆助右衛門 (30) 8.895	☆〃 (32) 9.455	☆儀兵衛 II (35) 8.998	☆〃 (37) 8.998	☆〃 (40) 8.998	☆〃 (42) 9.455
	文治 (36) 4.495	〃 (38) 4.495	〃 (43) 4.952	〃 (44) 4.952	文治 (22) 2.215	0.457
合計	45.909	45.909	44.454	44.454	42.314	39.603

家筋	天明 2 年 1782	寛政 2 年 1790	寛政 4 年 1792	寛政 6 年 1794	寛政 10 年 1798	享和 2 年 1802
利右衛門筋	〃 (27) 7.132	伝次 (35) 5.417	〃 (37) 3.462	〃 (39) 3.462	☆〃 (43) 1.804	☆〃 (47) 1.404
	同家	分家	→ 武兵衛 (24) 0.088	武平 (26) 0.088	元次 (31) 0.088	〃 (35) 0.088
	★〃 (37) 14.786	★利右衛門 (45) 12.536	★〃 (47) 12.273	★〃 (49) 12.273	★〃 (53) 12.273	★〃 (57) 9.208
儀兵衛筋	☆〃 (48) 7.545	☆儀兵衛 (57) 2.822	☆〃 (59) 2.822	☆〃 (61) 2.822	×	儀兵衛 (27) 2.174
						〃 (31) 2.174
合計	29.463	20.775	18.645	18.645	16.339	12.874

表33 三家の高推移 ★…庄屋 ☆…年寄 ()…年齢 数値は石高 ○は三家内での高移動 点線矢印は、分家・同家による高移動。三家以外の高移動は略した。